

ニュースリリース

2026 年 9 月 17 日

三菱オートリース株式会社
名鉄ゴールデン航空株式会社
ALTNA 株式会社

循環リースプランで使用済み EV バッテリーを蓄電池へ 3 社で希少資源の国内循環を推進

三菱オートリース株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:高井 直哉、以下「三菱オートリース」)、名鉄ゴールデン航空株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:花房 伸介、以下「名鉄ゴールデン航空」)、ALTNA 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福井 盛一、以下「ALTNA」)の 3 社は、CO₂排出量の削減に向けて電気自動車(以下、EV)の導入を推進するとともに、車載利用を終えた EV バッテリーを他用途へ転用し、国内で長期活用する資源循環の実現に向け協力します。

記

名鉄ゴールデン航空が事業を展開する物流業界では、事業活動に伴う CO₂の排出を避けることができず、その削減に向けた取り組みが配送受注にも影響するなど、社会から率先した対応が求められています。こうした環境のもと、名鉄ゴールデン航空はこれまでも EV 導入を積極的に進めてきましたが、航続距離やコストなどの課題を抱えていました。

今般、航続距離の課題解決に資する N-VAN e:を、経済性に優れた「N-VAN e:循環リースプラン」で導入することにより、円滑な事業運営と CO₂排出量削減の両立を図ります。さらに、EV バッテリーの系統用蓄電池への転用を通じ、資源循環の実現にも貢献します。

具体的には、ALTNA のバッテリーリースを活用した三菱オートリースの「N-VAN e:循環リースプラン」を通じて、名鉄ゴールデン航空は経済性を確保しながら EV 導入を進め、車両としての利用終了後は、ALTNA が EV バッテリーを系統用蓄電池へ転用します。EV ユーザー、三菱オートリース、ALTNA の 3 社が連携することで、希少資源の国内循環の実現につながります。

脱炭素社会の実現に向け、近年企業や自治体においては社用車・公用車として EV の導入・検討が進んでいる一方で、中古 EV の約 8 割が海外に輸出されていると言った実情下、今後増加の見込まれる EV のバッテリーに含まれる希少資源の国外流出防止も課題となります。

このような状況を踏まえ、EV ユーザーである名鉄ゴールデン航空、リース会社である三菱オートリース、およびバッテリーオーナーである ALTNA が連携し、単純な車両利用に留まらず、車載利用を終えた EV バッテリーを系統用蓄電池として再利用する取り組みを進めます。さらに、最終的なリサイクルまで見据えることで、脱炭素社会の実現と希少資源の国内循環に貢献してまいります。

■ 各社概要

■三菱オートリース株式会社

三菱オートリースは自動車・モビリティに係るリース、メンテナンス等の総合ソリューションサービスを展開しています。昨今では、特に EV を始めとする電動車の導入によるお客様の脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みをサポートする EV ソリューションの展開に注力しています。

◇本社：東京都港区芝 5-33-11 田町タワー

◇事業内容：自動車・モビリティに係るリース、メンテナンス等の総合ソリューションサービス業

■名鉄ゴールデン航空株式会社

◇本社：東京都江東区南砂 7-12-4 東東京流通センターB 棟 6 階

◇事業内容：利用運送事業、一般貨物自動車運送事業、航空運送代理店業、等

■ALTNA 株式会社

◇本社：東京都千代田区内幸町 2-1-6 日比谷パークフロント

◇事業内容：バッテリーリース事業、リパーパス蓄電事業、スマート充電事業
(本リースに関する事業は子会社を通じて提供)

■ 本リースに関するお問い合わせ先

三菱オートリース株式会社 経営企画部 広報担当：山本・田中

ホームページ：[お問い合わせ先](#)

E-mail: keiki@mitsubishi-autolease.com

以上